

皆さん、おはようございます。

体育祭が明日 29 日に延期となり、少し無念に思っている皆さんもいるかもしれません。色々な意味合いや事情で、もしかすると少しホッとしている皆さんもいるかもしれません。

雨に対しても、色々な行事やイベントや催しに対しても、そこへの思いの寄せ方は人それぞれで、物事に対して皆さんが皆さんなりの思いを大事にもつことは尊重されるべきことと考えています。

例えば、宮沢賢治の「雨ニモマケズ」は皆さんも日本語としてはよく知っていると思います。この「雨ニモマケズ」を英語にするとどうなるかです。直訳的には「Against The Rain」になるようですが、広島市在住の詩人であるアーサー・ビナードさんは「Rain won't」「Rain won't stop me」とされています。

この世界の中には、命をかけて雨を心待ちにしている人たちも数多くいます。一方で広島もそうですが、雨の影響でとても苦しい思いを経験した人も多くいます。そのため、宮沢賢治の「雨ニモマケズ」を「Against The Rain」とうけとめる人々がいることは大事な視点です。また異なる見方・考え方として、アーサー・ビナードさんによる「Rain won't stop me」はとても考えさせられる表現だと思います。

これまでも宮沢賢治の生き方や表現に対しての賛否は様々ですが、「雨ニモマケズ」の結びの表現である「サウイフモノニ ワタシハナリタイ」を皆さんの「こころ」と「からだ」は、いまどのように受けとめることができそうでしょうか。

様々な物事を自分のいまの頭の中のものさしだけで受けとめたり考えたりするのか、それとも自分の「こころ」と「からだ」とともに、仲間やまわりの皆さんの「こころ」と「からだ」の中での思いにも想像を寄せながら、受けとめたり考えたりもできるかどうか、実は明日の体育祭の中での皆さんの姿から私もさらに考え学んでみたいと思っています。

また関連したお話は明日の体育祭の開会の挨拶の中でも触れていきます。先日の体育祭の予行の中でも少しお話をした「知の体力」「体の知力」にも関わってきますが、明日にむけて、そして明日の体育祭でも、皆さんと「こころ」「からだ」、さらに「知識の身体化」「身体化する知識」についても考え合っていければと期待しています。